

平 町 振 企 号
平成 20 年 10 月 16 日

国土交通省道路局長 様

平取町長 川 上



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）
平成 20 年 9 月 19 日付、国道企第 37 号にてご依頼のありました標記の件につきまして、別紙のとおり回答いたしますので、よろしくお取り計らい願います。

（町づくり振興課）

少子高齢、高度情報化、地球温暖化などの環境問題などがもたらす社会・地域の多様化に伴い、インフラストラクチャーとしての道路の役割も変化している。どのような道路が必要なのか、どんな道路を整備するのか、事業施工時において、説明責任を基本とする適時での情報公開、実施主体とエンドユーザーとの情報共有、十分な議論を根拠とする地域及びユーザーニーズの把握が重要度を増すと考える。

②-1 地域の現状と抱える課題

北海道平取町

○現状 公共交通機関網の整備が脆弱な中山間・過疎地域においては、地域内、自治体間等の移動手段として、自動車への依存度は高い。このような現状から必然的に主要国道、基幹地方道、町道等整備の更なる充実が求められている。	○課題 ①地域内、自治体間移動等の、特に高齢者など、交通手段の確保が困難な、いわゆる交通弱者といわれる層のトランスファーの確保が大きな課題となっている。特に広大な北海道で住家が点在する中山間・過疎地域では、道路整備の更なる充実と移動手段としてデマンド方式などの導入を図るなど、地域の実情に適合する輸送システムの早期確立が希求されている。 ②基幹産業である農林産物の消費地への円滑な輸送は、地場産業の発展、活性化のためには、もはや必須の条件となっている。都市圏へのアクセスを容易にする高速道路網の早期整備が求められている。 ③医療体制の整備が制限される小規模自治体立の医療機関では、近隣の総合病院との連携による、住民の疾病・事故時の適切な体制づくりが重要となっており、総合病院等へ患者を円滑に輸送を可能とする高速道路網の整備が課題となっている。
--	---

本町のまちづくりを進めていくうえで、住民自治を基本とする地域内コミュニティ活動の活性化、基幹産業である農林業の振興、企業誘致や移住定住促進、医療福祉施策のさらなる拡充など、それらを支えるハード事業としての、国道、道道の幹線、町内を網羅する町道の整備は欠かすことのできない事業として長期計画のなかでも位置づけ、更なる整備を促進することとしている。

今後の道路行政についての意見・提案

②-2 地域の目指すべき将来像

様式④

北海道平取町

○重点項目	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域産業の振興	・トマト産地として、自治体単位としては日本一の生産量の維持及び更なるブランド化	・高速基幹道路網の整備により大消費地への農産物の円滑・迅速な輸送	
・医療体制の充実	・地元医療機関では対応困難な患者等の治療に関する、都市部総合病院との連携	・円滑な患者輸送を可能ならしめる高速幹線道の整備	
・地域交通の充実	・高齢者等交通弱者の足の確保	・多様する移動ニーズに対応できるデマンド式輸送システムに対応可能な道路施設の整備	